

クリスマスローズの やさしい育て方

文・工藤 一成

いまや冬に咲く代表的な植物のクリスマスローズ。色や品種も豊富になり街中の寄せ植えなどでもよく見かけます。ですが昔のイメージが強く、栽培が難しいと思っている方も多いのではないのでしょうか。今回は、初めてクリスマスローズを育ててみたいと思っっている方にもわかりやすく説明します。

クリスマスローズにはガーデンハイブリッド(オリエンタリス)系、ニゲル、リビダス、フエチダスなどたくさん種類があり、色や姿もさまざまですが、基本的な育て方はほとんど同じです。基本的に宿根草で成長期は秋～春。夏の暑い時期には休眠状態になります。ちょうどチューリップやスイセン、クロッカスなどの秋植え球根とよく似た生育パターンです。



肥料

肥料は生育期の10月頃～3月頃まで与えます。5月頃には肥料が切れた状態にします。暑い時期に肥料が効いていると枯れてしまうこともあるので注意して下さい。初めて育てる方はクリスマスローズ専用肥料を使うと便利です。商品にもよりますが1か月に1回与えるものが多いです。

「実生苗」と「メリクロン苗」

現在、園芸店で販売されているクリスマスローズは大きく分けて2タイプあります。一つは実生苗、もう一つはメリクロン苗です。

実生苗は種から生えた苗を育てたものです。同じものが一つもないのが特徴です。咲く花は一期一会で、同じものも一つ一つ思っても手に入りません。「ラベルと同じ花が咲かないのですが…」というお悩みをお店でよく耳にしますが、これは実生苗なら当然のこと。ラベルはこんな花が咲くかもしれないという目安だと思ってください。

一方、メリクロン苗はクローン繁殖。特殊な技術で1つの細胞を何倍にも何万倍にも増やす方法です。こちらの苗はラベルと全く同じ花が咲きます。実生苗ではよく似た花色をしていても株の成長や耐病性など全てが異なりますが、メリクロン苗は全て親と同じ。誰でも簡単に育てられます。



水やり

生育期は乾く少し前に水を与えます。水が十分なときは手のひら状の葉が上を向きピンと立っていますが、不足始めると葉先が下を向きます。秋～春にかけてはこのタイミングで水を与えます。さらに乾くと株元の葉柄から倒れてきますが、暑い夏はこのタイミングです。

冬は暖かい日中に、夏は涼しい夕方に水をやるのが基本。冬は暖かい時間に水を与えないと土が凍り、水を吸うことができず。反対に、夏は日中に水やりをすると暑さで土の中が蒸れ、根が腐ります。春と秋は夏冬を参考に、水をあげるタイミングを調節して下さい。



株分け

【株分け】生育が始まる10月頃が最適。回復が早く、株へのダメージも少なく済むためです。クリスマスローズは宿根草なので年々株が増えていきますが、株が混みあうと生育が悪くなり、花も咲きません。鉢の回りを木槌などでたたいて株を取り出し、包丁などではっきりと切り分けまします。このとき、古土や腐った根は取り除きましょう。

株分けができたなら新しい用土で植込みます。専用土を使うのがおすすめです。株が混みあっていない場合は鉢増しを行います。株分け同様、古い土や根を



陽光

花梨

肩引き

琴音

小桜

春霜

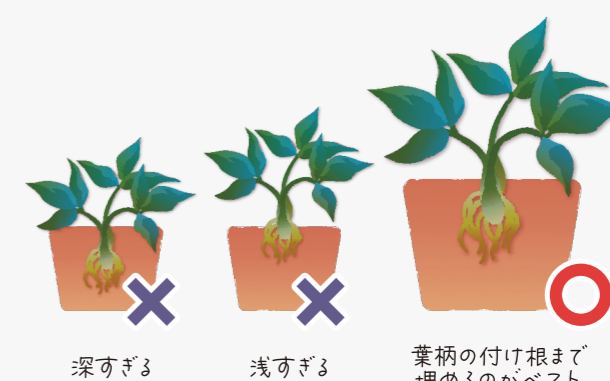
螢火

濃姫

手毬

うすぎぬ

取り除き新しい用土で植え替えます。生育が早いので、二回りくらい大きな鉢を選びましょう。株元から新しい根を出すため、葉柄の付け根は土に埋まるようにしますが、株の中心を埋めると腐って枯れてしまうので注意します。



深すぎ

浅すぎ

葉柄の付け根まで埋めるのがベスト

【古葉切り】気温が10度を下回る11～12月頃に行います。ウィルス病伝染予防に刃物は消毒します。ピストロンなどの消毒薬もありますが、ライターなどの火であぶると簡単です。【植え場所】置き場所 落葉樹の下が最適ですが、夏の西日さえ避けられればそれほど神経質になる必要はありません。以上の作業をきちんと行えばどなたでもきっと美しい花を見ることができると思っています。

これらは育種交配された中から毎年美しく丈夫なものだけを選んだもの。数千株の中から選ばれたのはたった2、3株。厳選に厳選を重ねた自慢の子たちです。いずれも生育が早く丈夫で、通常開花まで2～3年かかるところ1～2年で咲きます。新品種も次々と登場していきますので、好みのクリスマスローズがきっと見つかるはずですよ。

アカツカオリジナル品種の「伊勢みやびシリーズ」は全てメリクロン苗。アプリコットの中大輪で緑の濃いオレンジ色が朝焼けのように美しい花梨、明るい黄色に赤のピコティ(糸状の覆輪)がひときわ目を引く八重咲きの陽光、華やかなピンク色の八重咲きで特に丈夫な琴音、白に赤紫のピコティとタークネクター(蜜腺。本来の花が退化したもの)が清楚でかわいい一重咲きの肩引きや春霜など、現在10数種類のラインナップがありバラエティ豊富です。

クリスマスローズは難しいと思っいるあなた、今年はずせ一度チャレンジしてみませんか。

伊勢みやび
クリスマスローズ
学名: Helleborus
キンボウゲ科ヘレボルス属

“伊勢みやびシリーズ”は
赤塚植物園オンライン「花の音」で
ご購入いただけます。

赤塚植物園 花の音 検索



梅のガーデン
- 期間限定開園 -
2月4日(金) 園内にOPEN

新しい見どころが登場！

冬季メンテナンス休園後の2月、レッドヒルに新しい見どころが開園します。それは「梅のガーデン」。

立性のウメ、枝垂れ性のウメ合わせて45本、十数品種が約3000㎡の敷地内に植栽されています。ほとんどのものが高さ3m以上、中には5mを超えるウメもあります。

開花の見頃は2月20日頃から3月上旬まで。ウメは気温が上がると一気に開花が進みます。朝つぼみだったものが昼に満開になることも。私たちも天気予報とにらめっこして、どれくらいで見頃になるか予測しながらご案内をしていきます。

「梅のガーデン」は期間限定での開園となっております。ウメの開花が終了次第閉園します。見頃があったという間だからこそ感じる「植物のひとつの力強さ」を感じてみてください。

冬から春にむけて

色が少なかった園内のあちらこちらで色々な植物の開花がはじまり、春に向けて少しずつにぎやかになっていきます。この「少しずつ」というのが何とも言えない、春へのわくわく感を増しているように感じます。

寒い時期に小さな花がひっそりと、でも力強く咲いているところも素敵な魅力です。

2月中旬頃から3月中旬頃にカワツヅクラ、モクレンの仲間、ミツバツツジ、スイセンなどが開花。その種類は暖かくなるとともに増えていき、冬からの目覚めを感じることが出来ます。遠くのあの場所には何か咲いているから近くまで行ってみよう、という気にさせてくれるのは、樹木が芽吹く前、見通しの良い季節ならではです。



スイセン



シバザクラ



サンシュユ



ツバキ



クリスマスローズ

赤塚植物園グループ 60周年 レッドヒル ヒーサーの森 5周年

年間パスポートで
レッドヒルを自分のお庭に

広大な里山が
もっと身近に！

年間パスポート販売価格

通常5,500円

特別に！

3,800円

発行から
1年間有効

特別価格販売期間

2021.11/6～2022.11/30

赤塚植物園グループ 60周年 レッドヒル ヒーサーの森 5周年

特別価格で
レッドヒルがもっと身近に

里山の四季を
満喫しよう！

里山維持
協力費

特別価格期間 2021/12/1～2022/11/30

特別価格

7月～9月・11月16日～1月

500円

2月～3月・6月16日～6月末
10月～11月15日

800円

4月～6月15日

1,200円



マイローズ



シャドウ オブ ザムーン

今回は、この冬バラ栽培を始める方にお勧めしたい「これを選んだら間違いない！」の2品種を紹介いたします。

マイローズ
赤いバラの中で、最もオススメしたい品種のひとつ。見るからに耐病性の強そうな光沢のある照り葉で、まるで上級者向けのような形の花がたくさん咲きます。中小輪で大輪のような迫力はありませんが、そのかわりいつも咲いているような感じがするほど花付き、花持ちがよく、毎日見るのが楽しみになります。剪定も簡単で、花摘み剪定を繰り返せばOK。管理の楽な品種です。

シャドウ オブ ザムーン
バラ担当者から見ても、「えっ？この花色で、こんなに丈夫で育てやすいのか！」と思ってしまっただけですが、そんな常識が通じませんね。前述の「マイローズ」同様耐病性が強く、育てやすい、咲かせやすい品種で、花持ちもとても良いです。また、秋遅く、冬近くまで花を咲かせようとするようです。

最近のバラは改良が進み、本当に育てやすい品種がたくさん出回るようになりました。この2品種以外にもビギナーさんが安心してチャレンジできる品種をご用意しています。ぜひ、この冬からバラにチャレンジしてみてください。全力でサポートいたします。

バラ担当の
おすすめ
バラ
便り

2022, Winter



FFCパビリオン副店長
バラ担当 / 青木



レッドヒル ヒーサーの森

〒514-2221 三重県津市高野尾町2877番地

芸濃 1.Cから車で約5分・「朝津味」となり

営業のご案内

里山維持協力費 500～1,200円

定休日 毎週木曜日

開園時間 9:30～17:00

新着情報、イベント、
新商品などの情報を配信！

ヒーサーの森

検索

<http://www.redhill.co.jp>

公式SNS



akatsukagarden

